

入国警備官採用試験

入国警備官とは

国際交流の活性化の中で、世界各国から多くの人々が日々我が国を訪れています。その目的は様々ですが中には観光などの目的を装って入国し、犯罪に走る外国人や不法就労を行う外国人もいます。

入国警備官は、これら法律に違反する外国人に対して厳正に対処し、日本の安全と国民生活を守り社会秩序を維持するという重要な使命を担っています。

入国警備官の主な業務

入国警備官は、地方出入国在留管理局等で外国人の退去強制業務（違反調査、収容、摘発、送還）等に従事しています。入国警備官は、外国人と接する機会が多いため、広範囲な法律知識のほか、高い品性と豊かな国際感覚が求められ、国の安全と国民生活を守るための強い正義感、強固な意志、機敏な行動力も要求されます。

入国警備官の採用状況

最終合格名簿に記載された者の中から、全国の地方出入国在留管理局又は入国者収容所入国管理センターに採用が決定されます。

那覇支局における直近の採用

- ◆ 令和4年 1名
- ◇ 令和3年 4名

入国警備官をめざす方へ ～先輩職員からのメッセージ～

私は、入国警備官の業務の中でも収容場での看守、帰国説得のための面接、自国への送還等の処遇及び執行業務に従事しています。

送還業務を行う際には、被退去強制者が自国へ送還されることを拒否して暴れることもあり、常に危険と隣り合わせで、緊張感を持って業務にあたっています。無事に被退去強制者の送還を終えることができた時にはやりがいを感じます。

また、在外公館への出向、他省庁への人事交流といった形で様々な業務に従事することもできるので、それぞれの適性に合った環境の下で働くことができます。入管に興味をもった方はぜひチャレンジしてみてください。皆さんと働ける日を楽しみにしています！

K・N 令和3年採用（公安職）高卒程度

採用されたら・・・

◆勤務地

全国の出入国在留管理局、入国管理センター等において2、3年ごとに異動し、勤務します。

◇研修制度

入国警備官としての能力を身につけるため様々な研修の機会（初任科研修、中等科研修、語学委託研修等）が設けられています。

◆キャリアパス

警守、警守長、警備士補、警備士、警備士長、警備長、警備監の7階級があり、努力次第で上位の階級に昇進することができます。

～勤務スケジュール（日勤勤務の例）～ （警備部門A警備官の一日）

- 08:30 出勤。入管法違反者の面接
- 10:00 入管法違反者の居宅へ調査
- 13:00 面接や調査に関する書類作成
- 16:00 日々使用している物品や武器の点検
- 17:15 翌日の業務予定を確認し、退庁

<問い合わせ先>

出入国在留管理庁

福岡出入国在留管理局那覇支局 総務課総務係

TEL 098-832-4185

HP <https://www.moj.go.jp/isa/index.html>

